

第 4548 号	 リーダスクラブ	1994年1月6日創刊・毎日発行
		リーダスクラブFAXニュース (2012年)平成24年 8月15日 水曜日

発行所 三輪厚二税理士事務所／顧問料不要の三輪会計事務所（編集・発行：税理士 三輪厚二）
大阪市中央区備後町 2-4-6 TEL：06-6209-7191 WEB：<http://www.zeirishi-miwa.co.jp>

⇩ 調査において重点的に取り組んでいる事項

Q：税務署が調査において重点的に取り組んでいる事項があると聞きました。どのような取組みなんですか？

A：次のような取組みをしているとされています。

【解説】

さきごろ、国税庁から国税庁レポート2012が公表され、その中に調査において重点的に取り組んでいる事項が書かれています。

内容は次のとおりです。

①資産運用の多様化・国際化を念頭に置いた調査を実施

高額な所得が見込まれるが申告額が少なかったり、そもそも申告を行っていない者などについて、資産運用の多様化・国際化も念頭においた上で調査等に取り組んでいます。

②十分な審査と調査等により、消費税の不正還付申告を防止

消費税について虚偽の申告により不正に還付金を得ようとするケースが見受けられるため、還付の原因となる事実関係について十分な審査を行うとともに、還付原因が不明な場合には、調査等により接触し、不正還付の防止に努めています。

③納税者の主張を正確に把握し、適正な課税処理を遂行

あらゆる事案において、常に、納税者の主張を正確に把握し、的確な事実認定に基づいて十分に法令面の検討を行った上で、適正な課税処理を行うよう努めています。

